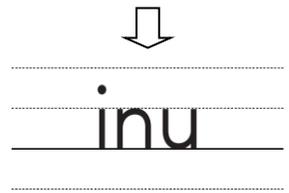
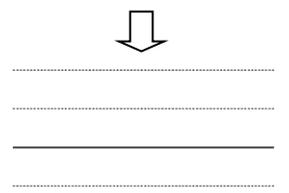


7 次の1と2の言葉を、例のように、ローマ字でていねいに書きましょう。また、3のローマ字の読みをひらがなで書きましょう。

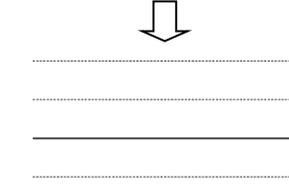
(例) [いぬ]



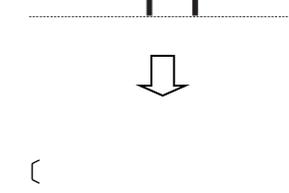
1 [くすり]



2 [たべもの]



3 happa



8 高木さんの学級では、自分になりたい職業についてそれぞれ調べました。次に示すのは、高木さんがケーキ屋さんインタビューをしたときのメモの一部です。高木さんは、分かりやすいメモにするためのくふうをしました。どのようなくふうをしているかを説明したものととして、ふさわしいものを次の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

〈高木さんのメモ〉

- ケーキ屋さんになろうとしたきっかけ
 - ・ケーキを作っている様子にあこがれたから。
 - ・人を喜ばせたい。
- ケーキ屋さんになるために
 - ・おかし作りを教えてくれる学校に通った。
- ケーキを作る喜び
 - ・思いえがいた味になったとき。
 - ・デザインどおりに作れたとき。
 - ・「おいしい」と言ってもらえたとき。
- 苦労していること
 - ・新しいケーキを考え出すこと。

- 1 自分がケーキ屋さんになりたい思いを中心に書いている。
- 2 下調べしたことと聞いたことを合わせて書いている。
- 3 話してくれた要点をできるだけ短く書いている。
- 4 話してくれたことに対する意見や感想を書いている。
- 5 内容が分かるように見出しを付けて書いている。

答え
と

9 小野さんの学校では、五年生になると登山に行きます。六年生の小野さんは、去年の登山の経験を五年生に話すために、次のアからエのカードを用意しました。小野さんは、実際にはどのようなように組み立てて話したのでしょうか。

【用意したカード】

ア	質問を受ける
イ	登山前の体づくり
ウ	登山の楽しさ
エ	服そうや準備

【小野さんが実際に話した内容】

さわやかな五月、山に登ると風がとても気持ちよかったです。歩いてみると、美しい花やめずらしいチョウに出会い、みんな喜んでいました。山のちよう上まで登り着いたあとに食べたお弁当は、とてもおいしかったです。

わたしたちは、登山に向けて、一か月前から毎日運動場を走りました。みなさんも、取り組んでみてはどうでしょうか。

登山のときは、虫にさされたり、木の枝だけがをしたりしないように、長そでの服と長ズボンで参加するとよいと思います。ぼうしやタオルもわすれないでください。みなさん、分からないことがあれば、何でも聞いてください。

答え
↓
↓
↓

10 児童会の代表委員の石橋さんたちは、運動会について伝えたいことを、昨年の反省をもとに【メモ】に取ったあと、児童会だよりに書きました。【児童会だよりの一部】の②アの中に入るふさわしい内容を、①の書き方と同じように書きましょう。

【児童会だよりの一部】

児童会だより
第2号
四月二十七日発行

もうすぐ運動会！

全校のみなさんが楽しみにしている運動会が近づいてきました。昨年の反省を生かして、次のことに注意しましょう。

- ① 運動会の前に体調をくずさないように、健康に気をつけること。

② 早くに行動すること。ア

答え

【メモ】

〈運動会について伝えたいこと〉

- ↳ 昨年の反省から
- ◆ 運動会の前に体調をくずした人がいた。↳ 健康に気をつける。
- ◆ 開会式の集合時こくにおくれた人がいた。↳ 早くに行動する。

11

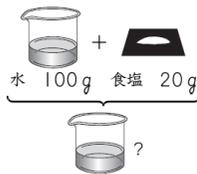
南田さんは、水にとかした食塩の重さについて実験をし、報告文を書きました。報告文の **ア**・**イ**・**ウ** の中に小見出しを書きます。小見出しとしてもっともふさわしいものを下の **1** から **3** までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

【実験報告文の一部】

(1) 調べたこと
水にとかした食塩の重さはどうなるかを調べた。

(2) **ア**

- ① 水 100 g をはかりとる。
- ② 食塩 20 g をはかりとる。
- ③ 食塩 20 g を水 100 g に入れてとがし、できた食塩水の重さをはかる。



(3) **イ**

食塩は、水にとけると重さがなくなってしまうので、食塩水全体の重さは、100 g になるのではないかと考えた。

(4) **ウ**

とがす前の重さ	とがした後の重さ
水 100 g	食塩水全体の重さ 120 g
食塩 20 g	
全体の重さ 120 g	

食塩を水にとがす前の全体の重さと、食塩を水にとがした後の食塩水全体の重さは、どちらも 120 g だった。

(5) 考えたこと

食塩は、水にとけてもその重さはなくならないと考えた。

ア 1 目的 2 注意 3 方法
答え

イ 1 準備 2 予想 3 条件
答え

ウ 1 評価 2 結果 3 想像
答え

12

次は、『たったひとりの伝説』という物語のはじめで、「おじいちゃん」に届いた外国語の手紙を見せられた「ぼく」について書かれた場面の一部です。**ア**・**イ**・**ウ** の中に入る人物を、本文中の言葉を使ってそれぞれ書きましょう。

「読まなくても、見るだけでいい」
おじいちゃんに言われ、ぼくは三枚の紙をひとつお見した。そして、「やっぱり何を書いてあるか、わかんないよ」と言っていて、すぐに紙をおじいちゃんに返した。
もしもそのとき、部屋に母さんがいたら、とんでもないことになっていただろう。
ア はこれくらいのことでも、顔をまっ青にして **イ** にあやまるか、さもなければまっ赤になって、こんなふうになって **ウ** をしかる。
「なんですか、その態度は。おじいさまに、『やはり、わかりません』と言いなさい！」
でも、母さんはそこにはいなかった。

(斉藤洋「たったひとりの伝説」による。)

ア
イ
ウ

13

次は、今村さんの家に配られたお店のちらしです。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

スーパーマーケット★まちかど★
営業時間 午前8時～午後8時

お客様感謝セール
5月12日(土)・13日(日)の2日間!!

おにぎり 110円が 80円	サンドイッチ 半額	ショートケーキ 20%引き
クリームパン 150円が 98円	いちご1パック (お一人様1パック限り) 30%引き 294円	コロケ 1個70円が 2個で 100円

(消費税込み)

セール期間中(12日・13日とも)
食パンを100名様にプレゼント

みなさん、おいで

答え

- 1 このお店は、夜九時に行っても買い物をする事ができる。
- 2 サンドイッチは、ふだんの一つ分の金額で二つ買うことができる。
- 3 セール期間中、お客様全員が必ず食パンをもらうことができる。
- 4 お客様感謝セールは、毎週土曜日と日曜日に行われる。

二 ちらしの中にある「みなさん、おいで」という表現は、店長の立場でお客様に対して使う表現としてふさわしくありません。ふさわしい表現にするために、「みなさん」の書き出しに続けて、一文で書き直しましょう。

みなさん、

14 六年生の白石さんの学級では、中学校での学習や生活への準備をするために、中学生にインタビューをすることにしました。インタビューは、「学習」・「部活動」・「学校行事」・「生徒会活動」の四つに分け、グループごとに行います。次は、白石さんのグループが、「部活動」に関する質問の内容を話し合っている様子です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】※①白石(司会)・②白石(司会)・③白石(司会)の発言の内容は、問いと関係があります。

白石(司会)

〜(部活動に関する質問を出し合っている)〜
ここで一度、出された質問を順番に確かめてみます。

- 1 部活動には、どのようなものがあるのか。
- 2 部活動は、土曜日と日曜日もあるのか。
- 3 それぞれの部には、何人まで入ることができるのか。
- 4 人数が一番多い部は、何人いるのか。
- 5 部活動は、何時から何時まで行うのか。

①白石(司会)

この五つの質問は、二つのままとりに分けられそうです。一つは、「部活動の種類と人数に関する質問」で、**A** が当てはまります。もう一つは、「部活動の曜日と時間に関する質問」で、**B** が当てはまります。これらの質問はまとめられそうですので、あとで整理することにします。それでいいですか。

全員

白石(司会)

それでは、質問をしたい内容を続けて出してください。

先生

〜(質問が出しつくされたところで、先生から助言が入る)〜

②白石(司会)

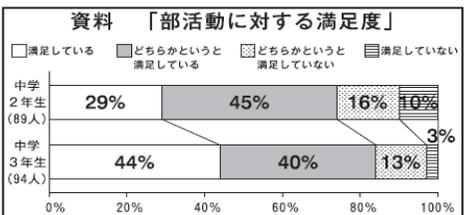
あなたの発表

ア

③白石(司会)

竹中

〜(発表が続く)〜
これまでに多くの質問を出してもらいましたが、ここで少し考えてもらいたいことがあります。わたしたちのグループは、中学校での部活動に向けて、どのような準備をすればいいかということについて、質問をすることが大切です。この点をふまえて、さらに質問の内容を考えてみてください。
「部活動を決めるのは、入学してすぐなのか。いつまでに決めなければならないのか。」と質問をしたいです。その理由は、〜(中略)〜からです。
〜(話し合いが続く)〜



※の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

--	--

三 ③白石(司会)

〜(話し合いが続く)〜 部の発言は、どのようなねらいをもっていますか。その説明として最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 立場のちがう人の発言を求め、公平な話し合いにしようとしている。
- 2 たがいの考えのちがいを比べて、一つの考えにまとめようとしている。
- 3 話し合いの目的を確かめ、それに合わせた発言を求めようとしている。
- 4 これまでに出された考えをまとめりに整理しようとしている。

答え

一 ①白石(司会)さんは、これまでに与えられた五つの質問を二つのままとりに分けています。【話し合いの様子】の中の1から5までの質問を、**A** に三つ、**B** に二つになるように分け、その番号を書きましよう。

部活動の種類と人数に関する質問

A () () () () ()

部活動の曜日と時間に関する質問

B () () () () ()

二 ②白石(司会)さんは、グループの人たちに、資料「部活動に対する満足度」をもとにして、中学生に対する質問を出して

もらおうとしています。あなたなら、**A** のところをどのような質問を考えて発表しますか。次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- 資料の中の中学2年生の割合と中学3年生の割合を比べて、あるいは両方に共通していることを取り上げて、質問をしたいことをはっきりと書くこと。(割合については、「%」と表記してもよい。)
- 六十文字以上、百文字以内にとめて、発表するほうに書くこと。

※の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。